「自学進取」の志をもって

新入生歓迎号

校舎をバックに満開の桜。都留高校には桜がいっぱいあります。新入生のみなさんは今年は見ることができなかったかもしれませんが、来年は満開の桜を見よう

都留高校へようこそ

今年もピンク色に咲いた桜の木。いよいよ進級・入学の時期です。新たな思いを胸にまた今年も頑張っていきましょう♪

都留高ニュース

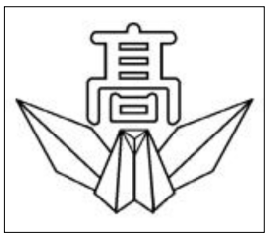
発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高校同好会

新一年生の皆さん入学おめでとうございます。もしかしたらこの「新聞同好会」を知って下さる人もいるのではないでしょうか。今回は挨拶代わりといってはなんですが、この新聞を通して都留高校について少しでも知って興味を持っていただければ嬉しいです！今後も最新情報を伝えられるように努力いたしますのでこれからも新聞同好会をよろしくお願いいたします！

都留高校の不思議発見?!（総集編）

都留高校の校章について

都留高生全員がつけているこの校章。それには深い歴史がありました。デザインは当時の美術部員の応募によるものでした。意味としては「新制高校の『高』の下にそれを支えるように一羽の折り鶴」を配したものです。


都留高校の校章

都留高校の校歌について

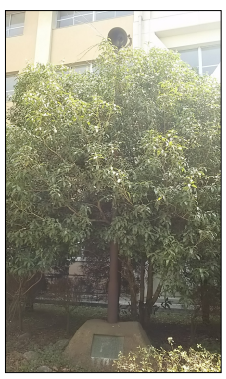
行事ごとに歌われる校歌。校歌の歌詞は文学博士・金子彦三郎氏作曲は国立音楽大学教授・小松清氏に依頼し長い伝統に培われた剛健不抜の精神と新しい時代広い世界に生きる若鶴の気概を謳ったものです。

都留高校の校訓について

校訓としての（五条訓）では戦後の民主化の波の中でその使命を終えました。しかし、その精神は新制高校の中でも生かされ、その後校風として定着したのが「質実剛健」の精神だったようです。のちに改めて（五条訓）を見直した三枝満校長先生は「自学進取」を新たな校訓とすることに決めました。

ちゃらんぽらんの鐘について

ちゃらんぽらんの鐘は一年と三年の昇降口にあります。鐘の下にある石碑にはこのように書いてあります。「この鐘は都留中学校創立当初から始業終了の時刻を告げてきたたれいうとなく鐘のメロディーから，ちゃらんぽらんの鐘，と呼ばれ朝夕親しまれた昭和四年卒業生一同が卒業五〇年記念としてこれをたてた。」



謎の彫刻について

体育館とハンドボールコートの間にある彫刻は「若鶴の飛翔」という名前を持っています。この彫像は平成九年三月一日に平成五、六、七、八年の卒業生の紹介でこの都留高校にたてらました。鼻をつまんでいるように見えるが、実際は空を見上げているとのことです。

選択教室の謎

選択教室の順番がとんでいる理由は、生徒数と選択教室の数が反比例しているからでした。最大七クラスまでありましたが、生徒数の減少により空き教室が増え、空き教室ができた順にアルファベットが振り分けられていったため、このようになりました。

グラウンドの土の違いについて

柏木先生によると野球部の黒い土は『黒土』という柔らかい土だそうです。土が硬いと野球ボールがバウンドするためそれを防ぐ緩衝材のような役割をしてくれます。サッカー部の土は硬く、野球をするには向かず安全性のために『黒土』を使っているとのことです。

大月にあるのに都留高校なのはなぜか?

都留高校の七不思議⑥

今回は都留高校の最も根源的な不思議、都留高校はなぜ大月にあるのに都留高校なのかについて小俣事務長にお話をお聞きしました。

「都留高校は明治33（１９００）年に山梨県中学校都留分校として南都留郡谷村町（現都留市）に建てられました。その後明治35年（１９０２年）に北都留郡大月（現大月市）に移転されました。（都留高校の名の）理由としては**南北都留両郡の中央に設置されたから都留という名前を使用した**のではといわれています。」

もし最初から大月にたてられていたら「広里高校」または「大月高校」になっていたかも?!

小俣事務長さんに『都留高百年の階』の本を見せていただきました。図書室でも見られるそうなので都留高の歴史に興味がある方はせーやさんに尋ねてみてはいかがでしょうか??

都留高部紹介

～新聞同好会編～

皆さんこんにちは！今回は私たち新聞同好会のことについて紹介していきます！

○活動について

「一ヶ月一号」発行することを目標に新聞を作っていて、一週間かけてインタビューをしたり部活訪問したり文字におこしたりしています。特にインタビューに関しては学校内だけではなく、校外にも渡って話を聞きに行っています。

○現在の状況について

現在は三年生主に三人で活動しています。中にはボランティアとして手伝ってくれている生徒さんもいます！私たちが引退したら後輩が足りなくてせっかく立ち上げた同好会が廃止してしまうかもしれないです。継続するためには１，２年生の力が必要となります。**少しでも興味がある、部活に入らず、でも何かやりたいという人などいろんな人大募集します！！**

〈私たちはもともと始めたきっかけは先生に声をかけられたことからでした。今ではインタビューを通して上手に話せるようになったりとかいろんな人との関わりが増えました。先輩や先生、後輩など沢山の方といろんな話を聞く中でためになったり、様々なことに視野が広がりました。このように同好会を始めたことで入る前想像していなかったような経験をこの都留高新聞を通して味わうことができました！この同好会に入ってマイナスになることは絶対にない！！もしかしたら文を書く力が得られるかも！？笑〉

○実績

山日新聞掲載

「てててTV」出演

高文連全国新聞専門部主催・全国高校年間新聞紙面審査賞にて、142作品の中から奨励賞を受賞（19作品）

山梨県芸文祭「新聞部門」

※見学したい方・話したい方・質問は本内教諭まで気軽にお声かけ下さい。

今、注目の人

新・校長　渡邉　信介先生

今回は二年ぶりに我が都留高に赴任された渡邉信介校長先生にお話を聞いてきました。赴任したばかりではありましたが、時間をとっていただきました。校長先生が二年前赴任されていた時に、そのときの生徒とともに外庭にある木々に名前の表示をされたそうです。

Q1、二年ぶりに都留高校に赴任されてきてどうですか？

A1、懐かしいというか久しぶりだなと思いました。都留高生の印象はいい子たちが沢山いる高校だなと思い、上品で優しいというイメージがあります。先生方も知っている顔が多く、芸術的なものがたくさんあり、古いけど生徒たちが綺麗に掃除をしていると思います。例えば普段は使わないトイレなども生徒たちが綺麗に掃除しているのを見て感動しました。一生懸命に掃除をしている姿が良いです。

Q2、都留高校をどのような高校にしていきたいですか？

A2、この地域のリーダーや世界に通用する人材を輩出するにあたって若者を育てる学校として一番にしたいです。また町の活性化の問題や地元の都留高生が少ないという現状からも都留高生の力が必要です。その力を作るだけでなくて将来この地域に返せるような人たちになってほしいです。

Q3、そのためにはどのようなことをしていこうと考えていますか？

A3、校訓に注目しようと思っています。「自学進取」の校訓をもっと皆にもわかってもらって実践してもらいたいので、いろいろな思いを伝えていけたらいいと思っています。古い伝統も確かに大事ですが、私は強く都留高生に一言お願いしたいです。

Q4、最後に都留高生に一言お願いします！

A4、「自学進取」に沿って自分の夢に向かって頑張ってもらいたい！

『百年の階』を前にインタビューに答えていただいた渡邉校長先生

PROFILE

生年月日：９月４日
教　　科：理科
　　（生物）
部　　活：
大学時代は合気道、顧問をした部活はスケート、陸上など

都留高生に人気な購買のパン！

今回はとても人気がある「購買のパン」について新一年生に紹介していきます！

購買を使ってそうな三年生にパンの種類とお気に入り・人気のパンについてもを聞いてみました！

値段は百円～百五十円くらいのものです

パンの種類

・メロンパン
・エビカツサンド
・シュガートップ
・ブルーベリーパン
・チョココロネ
・カレーパン
・サツマイモパン
・ウインナーパン
・ベーコン
・ＵＦＯパン
・スイートポテト
・カップケーキ
・塩パン
・焼きそばパン
・フィッシュフライサンド
ジャーマンポテト　　等々！！

三年生に聞いた！（一部に限る）

お気に入りのパン！！

一位　エビカツサンド　四票
二位　メロンパン
　　ブルーベリーパン　二票
三位　カップケーキ
　　焼きそばパン
　　ジャーマンポテト
　　シュガートップ
　　チョココロネ
　　サツマイモパン
　　ＵＦＯパン
　　一票

でした！！新一年生の皆さんも是非是非購買に訪れてみてはいかがですか？？

自学進取

４月から「モノ」の値段が上がっている。安倍政権が意図した政策の効果かわからないが、日常生活には徐々に影響がでてくるだろう。値段が上がった分、給料も上がってくれなくては生活に困る人も出てくる。ところで、友人とこんな会話をしたことがある。ＡＩが普及して人間の働く場所が今後奪われたらどうやってお金を稼いで生活していくんだろう。生活保護や失業保険を受ける人が多くならないだろうか、そんな心配の声だ。

２０１７年新書大賞に入賞した井上智洋『人工知能と経済の未来―２０３０年雇用大崩壊』（文春新書）では、この解決策として「ベーシックインカム」の導入を薦めている。「『ベーシックインカム』は収入の水準に拠らずに全ての人に無条件に、最低限の生活費を一律に給付する制度を意味」する。

そんなことしたら財政は破綻するのではないかと思うが、むしろ生活保護の支給より不正受給などの問題点などを考慮するとより効率的だという。また、過度のインフレにならないため月７万円程度の給付が妥当だという。これなら増税しなくても理屈上差し引きゼロになるようだ。いずれにしても今後の日本は何か「カイゼン」をしていかなくてはならないだろう。